

令和元年度事業報告

観光案内事業・観光情報提供事業

(1) 観光案内所の運営

奈良市からの委託により、市内4カ所の観光案内所を運営した。

- 奈良市総合観光案内所（JR奈良駅）
J N T O カテゴリー3認定の案内所として、国内外から来訪されるお客様に観光情報やサービスの提供を行った。
- 近鉄奈良駅総合観光案内所（近鉄奈良駅）
J N T O カテゴリー2認定の案内所として、主に近鉄奈良駅を利用される方を中心に、お客様に観光情報やサービスの提供を行った。
- 奈良市観光センター（ナラニクル）
JR奈良駅から奈良公園方面に向かう途中の案内拠点として、国内外から来訪されるお客様に観光情報やサービスの提供を行うとともに、ヒアリングやガイドを通じて外国人観光客の嗜好と動線を調査した。
- 西ノ京臨時観光案内所
西ノ京エリアでの情報発信拠点として、12月から2月を除く土日祝、並びに薬師寺、唐招提寺等の行事、催事期間に運営した。

(2) 観光情報誌「ならり」「なら葉」の発行

① 「ならり」の発行

季節毎の奈良市の観光情報を紹介する情報誌（半年刊）として、令和元年8月に令和元年度秋冬号、令和2年2月に令和2年度春夏号を各10万部発行した。

- 市内観光案内所、各地の観光関連団体をはじめ、交通事業者、首都圏大手旅行会社、カルチャー団体等へ配架・配布を依頼し、関係メディアにも送付した。
- 「なつの奈良旅キャンペーン」、「冬の奈良大和路キャンペーン」、および観光協会企画の着地型ツアー「奈良満喫体験」を合わせて掲載し、専用ポスターやホームページ・S N S等と連動させ知名度アップを図った。

【2019/2020秋冬号】

特集「西奈良～文化と歴史 モダンと現代が交差する町」

「日本タウン誌・フリーペーパー大賞2019」（主催：（一社）日本地域情報振興協会）自治体PR部門において優秀賞を受賞した。

【2020春夏号】

特集「かき氷を巡って感じる 奈良の良いとこ、おいしいもの」



② 「なら 茜」の発行

年間を通じた奈良市の総合観光情報誌として、12月に3万部を発行した。



(3) デジタル観光情報の発信

今年度からグーグルアナリティクス等によるアクセス解析を開始し、Webコンテンツの最適化を図った。

- ① 観光協会公式ホームページの運営（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語）

奈良市の観光情報を中心に提供するホームページを運営した。

トップページに「トピックス」欄を新設し、行事・キャンペーンの詳細が閲覧できるように改善した。また、夏・冬のキャンペーンでは特集ページを開設した。
- ② 観光協会公式フェイスブックの運営（日本語・英語・繁体字・簡体字・韓国語）

奈良市の観光情報や、観光センターの多目的スペースにおけるイベント情報等を発信

する他、「しかまろくん」フェイスブックも運営した。

5月に日英フェイスブックの統合と、ブランディングのためトップバナー・アイコン等を整理するリニューアルを実施した。

③ 観光協会公式インスタグラムの運営

今年度よりあらたに開設し、「冬の奈良大和路キャンペーン2019」の「ふゆならInstagram キャンペーン」企画を実施した。

④ 協会会員向けメールマガジンの配信

観光協会会員を対象に、毎月メールマガジンを配信し、観光関係の話題や観光協会の新しい取り組みなどを紹介した。

観光客誘致事業・観光プロモーション事業

(1) 国内誘客事業

B to Bとして、観光関連事業者、キーパーソンを対象にプロモーションを実施した。

① 「近畿6府県観光情報交換会」に参加し、主に首都圏の出版・メディア、旅行会社を対象にプレゼンテーション、資料配付等を行った。

(6月5日、10月2日、2月5日 【於：都道府県会館（永田町）】)

② JR西日本主催の観光情報懇談会に参加し、関西の旅行関連メディアを対象に観光情報の提供を行った。

(4月22日、5月29日、6月26日 【於：JR西日本本社（大阪市）】)

③ 「2019年度 観光素材説明会」（主催：JR西日本）に参加し、九州の旅行会社を対象に観光情報の提供を行った。

(1月27日 【於：グランドハイアット福岡（福岡市）】)

④ その他、首都圏、大阪市内、福岡市内の各旅行会社・メディアへの渉外活動、JR西日本主催旅行イベントへの協力を行った。

(2) 修学旅行誘致事業

① 奈良市東京観光オフィスを設置し、首都圏での誘致活動と情報収集を行った。

② 奈良市への誘致が見込める地域の学校、教育委員会、学校長会、旅行会社を訪問し、誘致活動と情報収集を行った。

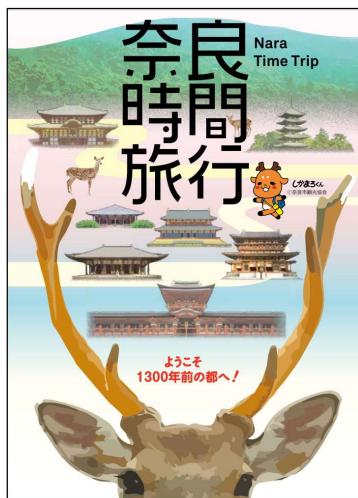
♦ 徳島市（7月17日）

市内小学校、教育委員会、旅行会社を訪問し誘致活動を行った。

♦ 福井市、京丹後市（8月26日）

奈良市旅館・ホテル組合に同行し、旅行会社を訪問し誘致活動を行った。

- ◆ 九州（9月2日～5日）
奈良市旅館・ホテル組合及び薬師寺の協力を得て、佐賀市、長崎市、太宰府市、大野城市、春日市、筑紫野市の中学校、教育委員会、旅行会社を訪問し誘致活動を行った。
 - ◆ 沖縄（12月2日～4日）
薬師寺の協力を得て、那覇市、名護市、宜野湾市の中学校、校長会、教育委員会、旅行会社を訪問し誘致活動を行った。
- ③ 奈良市への修学旅行を計画している学校の事前下見の受け入れを行った。
- ④ 奈良市内での班別行動に対応した体験プログラムを開発した。
- ⑤ 奈良市への修学旅行にあたり、事前・事後学習にも対応できる修学旅行専用パンフレットを発行した（3月末発行）。



修学旅行専用パンフレット「奈良時間旅行」

(3) 広報宣伝活動

奈良市の観光情報の露出を高めるため、新聞や雑誌等の媒体への広告出稿、各種メディアからの取材対応や、プレスイベント等により効果的に広報を実施した。

- ① メディアへの露出アップ
大手紙、地元紙、全国放送、ウェブニュース、旅行誌等に計118回取り上げられた。
- ② イベントの出展
「トラベルガールズフェスタ2019」（主催：シティリビング（サンケイリビング新聞社）にて、「冬の奈良大和路キャンペーン2019」の紹介と、来場者の意識調査を行った。（9月30日【於：太閤園（大阪市）】）
- ③ プレスイベントの開催
イベント実施前にプレス関係者を招待し、内容を紹介することで、広報効果を高めた。
 - 奈良・西ノ京ロータスロードプレスイベント（6月7日【於：喜光寺】）

- 冬の奈良大和路キャンペーンプレスイベント（11月22日【於：大和文華館他】）

④ プレスリリース

協会主催事業や、市内行事等に関して適宜プレスリリースを配信し、観光協会ホームページでも公開した。

⑤ 首都圏での広報

首都圏における継続的な広報手段として、大手旅行会社の奈良専用パンフレット内に観光協会広告スペースを通年で確保し様々な観光情報を掲載した。

観光協会広告スペース掲載パンフレット（年間21万3,000部を発行）

- (株) JTB首都圏制作 「あをによし奈良」
- (株) 近畿日本ツーリスト首都圏制作 「いくシカない奈良」
- (株) 日本旅行赤い風船東日本制作 「JR限定列車で行く奈良」

夏・冬のキャンペーン時における当該パンフレットの旅行商品を購入した奈良市内宿泊者3,255人（昨年4,582人）を対象に「若草山夜景観賞バス」無料乗車券や、市内観光施設割引等の特典を提供した（夏冬合計224人が利用）。

(4) 「JR西日本おおさか東線」全線開業記念関連事業

- ① 開業キャンペーン「はじまる、つながる、奈良の旅」に参加・協力した。（平成31年3月16日～令和元年6月30日）
- ② 「臨時特急まほろば」の運行時には NARA CITY コンシェルジュと共に出発式典とイベントに参加・協力した。（11月2日～12月8日）
- ③ 興福寺、春日大社、元興寺、東大寺の特別企画を実施した。
- ④ 「しかまろくん」デザインの開業記念パスケースを特急利用者に配付した。
- ⑤ JR西日本パンフレットに奈良市観光情報を掲載し、広範囲での広報に努めた。



(5) 「なつの奈良旅キャンペーン」事業（7月1日～9月30日）



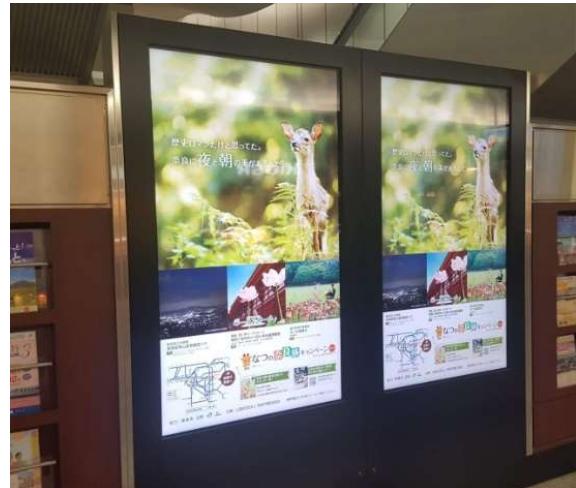
6回目を迎えた夏の誘客キャンペーンを実施した。

「夜なら朝ならを楽しむ」をテーマに、「若草山夜景観賞バス」、「夏の鹿寄せ」、「奈良・西ノ京ロータスロード」など、「朝と夜」の企画を実施し、滞在時間延長を促すとともに、情報発信とプロモーションに取り組んだ。

- ① 新日本三大夜景・若草山夜景観賞バス（7月13日～9月22日）
専用バスにより若草山頂に向かい、市内夜景を鑑賞する企画を実施した。
 - 実施日数23日（昨年度30日）
 - バス台数のべ48台（昨年度59台）
 - 参加者数967名（前年894名）
- ② 夏の鹿寄せ（7月14日～9月22日）
奈良の朝の風物詩として実施した（参加無料）。
 - 実施日数11日（前年14日）
 - 参加者数1,740名（前年1,430名）
- ③ 第7回 奈良・西ノ京ロータスロード（6月7日～8月18日）
 - 蓮が美しい西大寺・喜光寺・唐招提寺・薬師寺を巡る特別御朱印付き共通券企画を実施した。利用枚数1,247枚（前年1,670枚）
 - 関連企画として、四か寺での早朝参拝、喜光寺での写真教室、ウォーキングツアー、蓮講座を実施した。総参加者数89人。
- ④ キャンペーン専用ポスター、車内吊り広告などを制作し広範囲に掲出した。
- ⑤ キャンペーン専用ホームページを開設し、外部媒体にもリンク・バナーを提供した。
また、JR大阪駅でデジタルサイネージを実施し広範囲での認知度向上に努めた。



(B1ポスター)
近鉄難波駅集中掲出と、他の近鉄主要駅、JR西日本主要駅（大阪、京都、天王寺、三宮、姫路など）、山陽電車主要駅に掲出。



(デジタルサイネージ)
JR大阪駅中央口・桜橋口（通行者数42万人/日）の計24面にて実施（6月24日～30日）。

(6) 着地型ツアーの企画・販売

奈良市観光協会オリジナルの着地型ツアーブランドとして『奈良満喫体験』を中心に、一般の旅行会社では珍しい内容の社寺関連企画に加えて、奈良観光の多様さ、ユニークさを強調する企画を盛り込んだ。

参加申し込みは、観光協会の観光体験予約サイト「NARA タイム」にて受け付けた。

「奈良満喫体験」実績（ ）内は前年度実績

- 企画総数 37種(43)
- ツアー設定本数 49本(65)
- 催行本数 35本(46)
- 参加者数合計 660人(740)

令和2年度春夏版「なりり」春夏号所収「奈良満喫体験」

(7) 「冬の奈良大和路キャンペーン」事業（12月1日～3月22日）



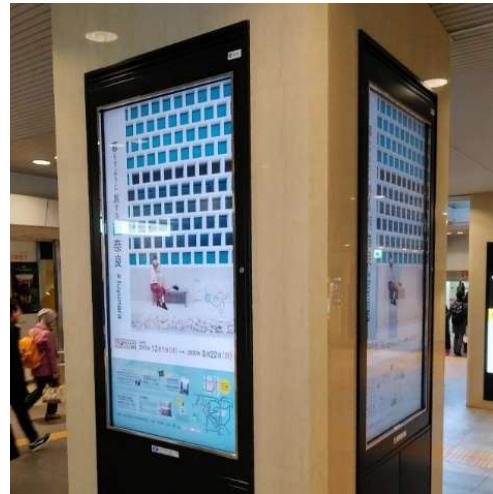
奈良市西部の富雄、学園前、菖蒲池にスポットを当て、「暮らすように旅する奈良」をテーマに、食、文化、自然、社寺の様々な情報を紹介した。

- ① 「冬の西奈良ぶらりスポット」として、奈良市西部を巡るモデルコースを紹介した。
- ② 「西奈良魅力発掘ツアーア」を企画・実施した。
- ③ 市内宿泊特典、観光施設割引を提供した。
- ④ 「Instagram キャンペーン」として、奈良市西部の写真投稿を対象に、市内宿泊施設の宿泊券を抽選で提供した。
- ⑤ 「冬の鹿寄せ」を奈良の朝の風物詩として実施した。（2月9日～23日）
- ⑥ 専用ポスターを制作し広範囲に掲出した。また、キャンペーン専用ホームページを開設し、JR大阪駅ではデジタルサイネージを実施し広範囲での認知度向上に努めた。



(B1 ポスター)

近鉄主要駅、JR西日本主要駅（大阪、京都、天王寺、三宮、姫路など）、山陽電車主要駅、南海電鉄難波駅に掲出。



(デジタルサイネージ)

JR大阪駅中央地下・大丸～阪神デパート間11面にて、Instagram キャンペーンと同時告知（1月1日～31日 通行者は15万人/日）。

(8) インバウンド誘客活動

訪日客に対する「発地（旅前）」における情報提供を念頭に活動を展開した。

- ① 近畿日本鉄道と協力し、台湾・高雄市で開催された旅行公会国際旅展（KTF）に参加し、現地旅行業者と一般消費者に情報を提供した。（5月24日～27日）
- ② 香港において、民間通信事業者と提携し、携帯電話を通じた香港人の訪日旅行に対する意識調査並びに大規模な奈良の観光情報発信の実証実験を行った。（6月～9月）
- ③ 関空就航航空会社との連携による海外現地での情報発信は今後も継続して協議する。
- ④ 「奈良市海外特派員」事業として、豪州最大の日系出版社・日豪プレスが発行する、日本文化と観光を紹介する英字誌「j STYLE」（年刊10万部）に奈良特集を掲載した。また、ラグビー観戦に訪日するオーストラリア人を意識した奈良の観光記事を依頼し、観光協会ホームページに掲載した。

- ⑤ 王立オランダウォーキング協会が後援するイベント「WALK CHALLENGE JAPAN 2020」の実施（2020年8月）に向けて、奈良市、奈良県ウォーキング協会、奈良県山岳連盟、柳生観光協会等と協力し準備を進めた。また、同イベントを同時期に実施する長崎市、嬉野市、さいたま市等とも情報交換と協力を続けた。
- ⑥ 奈良県と協力し、日本で最も長い歴史のある在日外国人コミュニティー向け情報誌「TOKYO WEEKENDER」のラグビーワールドカップ増刊号（3万部）に出稿した（9月）。また、同誌ホームページにて奈良の観光紹介を1年間継続している。



その他の誘客活動

- (1) 着地型旅行商品開発を中心に奈良市東部地区の広報を継続した。また、「WALK CHALLENGE JAPAN 2020」（前記）を通じて参加予定者に柳生を広く告知した。
- (2) 薬師寺東塔の落慶に向けて、薬師寺、奈良県、奈良県ビズターズビューロー、奈良市等の関係団体との定期会合に参加した。また、ゴールデンウィークに実施された東塔修理現場の見学イベント開催に協力した。

社寺関連行事、地元関連活動

- (1) 伝統行事等の保護育成
「薪御能」、「奈良大文字送り火」、「采女祭」の保存会事務局として、各行事の円滑な実施

に努めるとともに、専用ポスターの制作・掲出や、JR大阪駅でのデジタルサイネージ等を実施し、各行事の認知度向上と観光客誘致に取り組んだ。また、その他の各種行事に協賛・協力し、伝統行事の保護育成に努めた。

行事	日時	実施場所	備考
薪御能	5月17日・18日	春日大社・興福寺	
第60回 奈良大文字送り火	8月15日	飛火野・高円山	台風接近に伴い中止 (春日大社・大安寺にて慰靈祭のみ実施)
采女祭	9月13日	JR奈良駅～猿沢池	
第884回 春日若宮おん祭	12月17日	登大路園地桟敷席 松の下式桟敷席	特別桟敷席の運営
春日大とんど	1月25日	飛火野	春日大社との共催
第7回 珠光茶会	2月5日～9日	市内各社寺	事務局・当日従事



(各行事のチラシ)

御陵参拝に関して

第60回（平成31年3月10日・18日実施）を以て終了とし、以後は一般参加の可能

性を検討しつつ、その意義の広報を活動の中心とすることに決定した。

(2) 市内社寺行事への協力

奈良市内各社寺の行事や法要への支援・協力、あるいは役員・職員の参列・従事を行った。

(3) 後援

奈良市内を中心に行事・イベント等の後援を行った。

(4) 関係団体事業への参加

奈良マラソン実行委員会、平城京にぎわいづくり実行委員会など、県・市が主催する各種委員会・協議会並びに東海自然歩道連絡協会、(一財)奈良の鹿愛護会などの団体の委員・会員として連携・協力し、奈良市観光の振興に努めた。

(5) 帝塚山大学との連携

包括連携協定の一環として、奈良市西部における新たな情報発信の目的で同大学生制作による「富雄ラーメンマップ」を監修した（3月に帝塚山大学が発行。）。

「NARA CITY コンシェルジュ」 / 「しかまろくん」事業

(1) 「NARA CITY コンシェルジュ」事業

ミス奈良あらため、初代 NARA CITY コンシェルジュ 3名を選出し、市内外における各種イベント、行事に参加して、奈良市観光の広報に努めた。

参加行事・イベント数 : 44回（前年49回）

のべ参加人数 : 80人（前年90人）

(2) 「しかまろくん」事業

観光協会キャラクター「しかまろくん」を活用し、各種イベント、行事に参加する等、奈良市観光の広報に努めた。

参加行事・イベント数 : 17回（前年32回）

その他の事業

(1) おもてなし民間トイレ事業

観光客の利便性向上のために、民間事業者等の協力のもと、観光客が利用できる「おもて

なし民間トイレ」を設置・運営した。

(2) アイドリングストップ乗務員休憩所の運営

奈良市からの委託により、市内3か所のアイドリングストップ乗務員休憩所を運営した。

- 春日大社アイドリングストップ乗務員休憩所
- 薬師寺アイドリングストップ乗務員休憩所
- 唐招提寺アイドリングストップ乗務員休憩所

(3) 姉妹都市連携事業

福島県郡山市との交流を進めるため、双方の行事に使節団の派遣・受け入れを行った。

(4) 富雄丸山古墳発掘体験窓口業務

奈良市からの委託により、富雄丸山古墳の発掘体験学習及び発掘調査見学に係る受付、広報および企画等を行った。

(11月1日～5日、12月5日～6日、計7日間)

協会収益事業

(1) 手荷物預かり事業

観光客の利便性向上のために、協会収益事業として奈良市総合観光案内所において手荷物預かりを実施した。インバウンド客の利便性向上のためQRコード決済を導入している。

年間預かり個数合計 1万4,021個（前年1万6,500個）

(2) 物品販売

- 奈良市総合観光案内所（JR奈良駅）、近鉄奈良駅総合観光案内所において、「しかまろくん」グッズ、正倉院展チケット等を販売した。
- しかまろくんグッズの商品展開において、各制作業者からライセンス収入を得た。

協会運営関係

(1) 専門委員会

- 「常務理事会」を毎月開催し、重要事項を審議した。
- 「おもてなし委員会」「誘客委員会」の効率運営のために、両委員会傘下に、テーマ毎に外部からの人材を求め、協会職員と共同でプロジェクトチームを結成した。

- 観光客の滞在時間延長を目的として、「朝と夜の奈良マップ」を制作した。



「朝と夜の奈良マップ」表紙

(2) 会員交流スペース

シルキア奈良移転後に、事務所入り口に「会員交流スペース」を設け、会員交流、観光資料設置、協会企画等の予約窓口業務に供している

以上

貸借対照表
令和 2年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	96,908,704	79,447,333	17,461,371
現金	80,000	12,660	67,340
小口現金	210,000	230,000	-20,000
普通預金	95,541,362	74,223,957	21,317,405
郵便貯金	1,077,342	4,980,716	-3,903,374
未収金	2,443,857	5,603,838	-3,159,981
前払金	889,300	639,936	249,364
立替金	105,152	220,540	-115,388
流動資産合計	100,347,013	85,911,647	14,435,366
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	49,766	49,766	
基本財産合計	49,766	49,766	
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	3,000,000	3,000,000	
観光振興積立基金	2,007,699	2,007,674	25
特定資産合計	5,007,699	5,007,674	25
(3) その他固定資産			
什器備品	395,730	664,910	-269,180
ソフトウェア	1,085,328	1,449,936	-364,608
電話加入権	145,600	145,600	
保証金	1,000,000	1,000,000	
その他固定資産合計	2,626,658	3,260,446	-633,788
固定資産合計	7,684,123	8,317,886	-633,763
資産の部合計	108,031,136	94,229,533	13,801,603
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	60,122,755	53,133,894	6,988,861
前受金		12,000	-12,000
預り金	1,823,490	4,174,639	-2,351,149
流動負債合計	61,946,245	57,320,533	4,625,712
2 固定負債			
負債の部合計	61,946,245	57,320,533	4,625,712
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	
受贈土地	49,766	49,766	
受取利息	7,699	7,674	25
指定正味財産合計	2,057,465	2,057,440	25
(うち基本財産への充当額)	(49,766)	(49,766)	()
(うち特定資産への充当額)	(2,007,699)	(2,007,674)	(25)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	44,027,426	34,851,560	9,175,866
正味財産の部合計	(3,000,000)	(3,000,000)	()
負債及び正味財産合計	46,084,891	36,909,000	9,175,891
	108,031,136	94,229,533	13,801,603

貸借対照表内訳表

令和 2年 3月31日現在

決算用
(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金	-275,883,426	79,438,972	-10,658,964	304,012,122		96,908,704
現金	100,000	-40,000		20,000		80,000
小口現金		80,000		130,000		210,000
普通預金	-275,983,426	79,251,972	-10,658,964	302,931,780		95,541,362
郵便貯金		147,000		930,342		1,077,342
未収金	4,430,733	1,901	63,383	-2,052,160		2,443,857
前払金	11,990	47,340	200,000	629,970		889,300
立替金	-686,341	-106,051	11,429	886,115		105,152
他会計立替金	481,657,813	7,701,768	12,246,568	156,816,801	-658,422,950	
流動資産合計	209,530,769	87,083,930	1,862,416	460,292,848	-658,422,950	100,347,013
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	49,766					49,766
基本財産合計	49,766					49,766
(2) 特定資産						
減価償却引当資産				3,000,000		3,000,000
觀光振興積立基金				2,007,699		2,007,699
特定資産合計				5,007,699		5,007,699
(3) その他固定資産						
什器備品	288,841			106,889		395,730
ソフトウェア	822,312			263,016		1,085,328
電話加入権	131,040			14,560		145,600
保証金				1,000,000		1,000,000
その他固定資産合計	1,242,193			1,384,465		2,626,658
固定資産合計	1,291,959			6,392,164		7,684,123
資産の部合計	210,822,728	87,083,930	1,862,416	466,685,012	-658,422,950	108,031,136
II 負債の部						
1 流動負債						
未払金	69,213,724	895,284	-59,754	-9,926,499		60,122,755
預り金	23,838,928	-2,728,285	767,737	-20,054,890		1,823,490
他会計未払金	139,021,301	40,246,596	4,685,720	474,469,333	-658,422,950	
流動負債合計	232,073,953	38,413,595	5,393,703	444,487,944	-658,422,950	61,946,245
2 固定負債						
負債の部合計	232,073,953	38,413,595	5,393,703	444,487,944	-658,422,950	61,946,245
III 正味財産の部						
1 指定正味財産						
寄付金				2,000,000		2,000,000
受贈土地				7,699		7,699
受取利息						
指定正味財産合計	49,766			2,007,699		2,057,465
(うち基本財産への充当額)	(49,766)	()	()	()	()	(49,766)
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	(2,007,699)	()	(2,007,699)
2 一般正味財産	-21,300,991	48,670,335	-3,531,287	20,189,369		44,027,426
(うち特定資産への充当額)	()	()	()	(3,000,000)	()	(3,000,000)
正味財産の部合計	-21,251,225	48,670,335	-3,531,287	22,197,068		46,084,891
負債及び正味財産合計	210,822,728	87,083,930	1,862,416	466,685,012	-658,422,950	108,031,136

正味財産増減計算書
平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科	目	当年度	前年度	増 減
I	一般正味財産増減の部			
1.	経常増減の部			
(1)	経常収益			
	受取会費			
	正会員受取会費	9,876,676	10,241,352	-364,676
	事業収益			
	販売事業収益	4,643,236	5,453,856	-810,620
	特別観覧席収益	5,490,100	5,771,550	-281,450
	手荷物預かり事業収益	8,412,600	9,900,000	-1,487,400
	観光情報提供事業収益	1,760,000	1,830,000	-70,000
	ロイヤリティ事業収益	2,951,491	2,709,666	241,825
	旅行事業収益	2,853,034	3,371,294	-518,260
	カフェ運営協力収益	2,400,000	2,400,000	
	NARANICLE運営事業収益	1,511,930	1,511,930	
	受取補助金等			
	受取奈良市補助金	173,291,998	169,506,160	3,785,838
	受取民間補助金		50,000	-50,000
	受取奈良市受託料	94,380,667	95,565,987	-1,185,320
	受取負担金			
	受取民間負担金	16,051,844	18,304,502	-2,252,658
	雑収益			
	受取利息	1,503	1,703	-200
	雑収益	134,695	156,127	-21,432
	経常収益計	323,759,774	326,774,127	-3,014,353
(2)	経常費用			
	事業費			
	役員報酬	7,762,500	5,783,607	1,978,893
	給料手当	129,193,812	119,902,324	9,291,488
	臨時雇賃金	137,760	137,280	480
	福利厚生費	20,998,120	21,095,514	-97,394
	旅費交通費	2,821,610	3,780,537	-958,927
	通信運搬費	1,350,240	1,648,094	-297,854
	会議費	46,794	320,442	-273,648
	交際費	230,291	489,072	-258,781
	減価償却費	407,873	236,296	171,577
	消耗什器備品費	313,454		313,454
	消耗品費	3,457,254	4,719,877	-1,262,623
	修繕費	277,596	606,301	-328,705
	印刷製本費	4,419,210	5,482,202	-1,062,992
	燃料費		55,237	-55,237
	光熱水料費	8,646,608	8,605,588	41,020
	賃借料	9,499,811	5,369,597	4,130,214
	保険料	174,145	407,343	-233,198
	諸謝金	1,345,748	1,716,798	-371,050
	租税公課	6,327,400	6,265,600	61,800
	支払負担金	783,250	5,253,797	-4,470,547
	諸会費	144,000	1,171,000	-1,027,000
	支払補助金	23,103,612	22,562,312	541,300
	支払寄付金	107,000	88,971	18,029
	委託費	52,893,577	57,894,794	-5,001,217

正味財産増減計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
支払手数料	33,745	297,501	-263,756
広報宣伝費	9,105,392	11,029,818	-1,924,426
雑費	2,076,058	2,843,562	-767,504
管理費			
役員報酬	1,237,500	516,393	721,107
給料手当	8,707,664	5,849,275	2,858,389
福利厚生費	1,866,379	1,486,558	379,821
研修費	423,780	104,918	318,862
会議費	651,068	687,894	-36,826
交際費	43,292		43,292
旅費交通費	110,700	29,645	81,055
通信運搬費	676,284	1,120,698	-444,414
減価償却費	225,915	116,051	109,864
消耗什器備品費	121,033		121,033
消耗品費	1,631,131	960,198	670,933
修繕費	53,235	165,348	-112,113
印刷製本費	226,427	217,188	9,239
燃料費	161,294	152,593	8,701
光熱水料費	32,927	38,807	-5,880
賃借料	2,102,582	804,557	1,298,025
保険料	377,190	248,540	128,650
租税公課	82,000	77,600	4,400
支払負担金	7,140,171	13,997,717	-6,857,546
諸会費	603,040	546,740	56,300
支払手数料	321,534	301,794	19,740
委託費	2,128,602	7,765,295	-5,636,693
雑費	3,300	55,080	-51,780
経常費用計	314,583,908	323,006,353	-8,422,445
評価損益等調整前当期経常増減額	9,175,866	3,767,774	5,408,092
評価損益等計			
当期経常増減額	9,175,866	3,767,774	5,408,092
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
過年度損益修正益			
過年度損益修正益		155,345	-155,345
経常外収益計		155,345	-155,345
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損		1	-1
過年度損益修正損			
過年度損益修正損		1,556,174	-1,556,174
経常外費用計		1,556,175	-1,556,175
当期経常外増減額		-1,400,830	1,400,830
税引前当期一般正味財産増減額	9,175,866	2,366,944	6,808,922
当期一般正味財産増減額	9,175,866	2,366,944	6,808,922
一般正味財産期首残高	34,851,560	32,484,616	2,366,944
一般正味財産期末残高	44,027,426	34,851,560	9,175,866
II 指定正味財産増減の部			
特定資産受取利息			
特定資産受取利息	25	25	

正味財産増減計算書
平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
当期指定正味財産増減額	25	25	
指定正味財産期首残高	2,057,440	2,057,415	25
指定正味財産期末残高	2,057,465	2,057,440	25
III 正味財産期末残高	46,084,891	36,909,000	9,175,891

正味財産増減計算書内訳表
平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

決算報告用
(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費	4,938,338		987,668	3,950,670		9,876,676
正会員受取会費	4,938,338		987,668	3,950,670		9,876,676
事業収益	1,760,000	28,262,391				30,022,391
販売事業収益		4,643,236				4,643,236
特別観覧席収益		5,490,100				5,490,100
手荷物預かり事業収益		8,412,600				8,412,600
観光情報提供事業収益	1,760,000					1,760,000
ロイヤリティ事業収益		2,951,491				2,951,491
旅行事業収益		2,853,034				2,853,034
カフェ運営協力収益		2,400,000				2,400,000
NARANICLE運営事業収益		1,511,930				1,511,930
受取補助金等	228,419,953	3,794,514	3,605,868	31,852,330		267,672,665
受取奈良市補助金	134,039,286	3,794,514	3,605,868	31,852,330		173,291,998
受取奈良市受託料	94,380,667					94,380,667
受取負担金	100,000		15,951,844			16,051,844
受取民間負担金	100,000		15,951,844			16,051,844
雑収益		134,695		1,503		136,198
受取利息				1,503		1,503
雑収益		134,695				134,695
経常収益計	235,218,291	32,191,600	20,545,380	35,804,503		323,759,774
(2) 経常費用						
事業費	249,141,571	15,713,280	20,802,009			285,656,860
役員報酬	6,787,500	375,000	600,000			7,762,500
給料手当	110,791,886	3,204,420	15,197,506			129,193,812
臨時雇賃金	137,760					137,760
福利厚生費	17,430,366	686,828	2,880,926			20,998,120
旅費交通費	2,409,816	339,724	72,070			2,821,610
通信運搬費	1,208,258	139,454	2,528			1,350,240
会議費	46,794					46,794
交際費	230,291					230,291
減価償却費	407,873					407,873
消耗什器備品費	313,454					313,454
消耗品費	3,286,790	170,464				3,457,254
修繕費	258,896	18,700				277,596
印刷製本費	3,832,427	544,467	42,316			4,419,210
光熱水料費	7,134,675	1,505,347	6,586			8,646,608
賃借料	7,896,989	1,406,565	196,257			9,499,811
保険料	106,829	67,316				174,145
諸謝金	395,137	950,611				1,345,748
租税公課	6,322,600	4,800				6,327,400
支払負担金	682,250		101,000			783,250
諸会費			144,000			144,000
支払補助金	23,103,612					23,103,612
支払寄付金			107,000			107,000
委託費	47,740,677	5,152,900				52,893,577
支払手数料		33,745				33,745
広報宣伝費	8,614,053	491,339				9,105,392
雑費	2,638	621,600	1,451,820			2,076,058
管理費						
役員報酬			28,927,048			28,927,048
給料手当			1,237,500			1,237,500
福利厚生費			8,707,664			8,707,664
研修費			1,866,379			1,866,379
会議費			423,780			423,780
交際費			651,068			651,068
旅費交通費			43,292			43,292
通信運搬費			110,700			110,700
減価償却費			676,284			676,284
消耗什器備品費			225,915			225,915
消耗品費			121,033			121,033
修繕費			1,631,131			1,631,131
印刷製本費			53,235			53,235
燃料費			226,427			226,427
光熱水料費			161,294			161,294
賃借料			32,927			32,927
保険料			2,102,582			2,102,582
租税公課			377,190			377,190
支払負担金			82,000			82,000
諸会費			7,140,171			7,140,171
支払手数料			603,040			603,040
委託費			321,534			321,534
雑費			2,128,602			2,128,602
			3,300			3,300
経常費用計	249,141,571	15,713,280	20,802,009	28,927,048		314,583,908
評価損益等調整前当期経常増減額	-13,923,280	16,478,320	-256,629	6,877,455		9,175,866
評価損益等計						
当期経常増減額	-13,923,280	16,478,320	-256,629	6,877,455		9,175,866

正味財産増減計算書内訳表
平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

決算報告用
(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						
経常外費用計						
当期経常外増減額						
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-13,923,280	16,478,320	-256,629	6,877,455		9,175,866
他会計振替額	7,581,524	-7,581,524				
他会計振替額	7,545,801	-7,545,801				
過年度他会計振替追加額	35,723	-35,723				
税引前当期一般正味財産増減額	-6,341,756	8,896,796	-256,629	6,877,455		9,175,866
当期一般正味財産増減額	-6,341,756	8,896,796	-256,629	6,877,455		9,175,866
一般正味財産期首残高	-14,959,235	39,773,539	-3,274,658	13,311,914		34,851,560
一般正味財産期末残高	-21,300,991	48,670,335	-3,531,287	20,189,369		44,027,426
II 指定正味財産増減の部						
特定資産受取利息				25		25
特定資産受取利息				25		25
当期指定正味財産増減額				25		25
指定正味財産期首残高	49,766			2,007,674		2,057,440
指定正味財産期末残高	49,766			2,007,699		2,057,465
III 正味財産期末残高	-21,251,225	48,670,335	-3,531,287	22,197,068		46,084,891

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金				96,908,704
現金				80,000
小口現金				210,000
普通預金				95,541,362
南都銀行本店	南都銀行本店営業部	運転資金として		291,544
南都銀行本店A.G.T	南都銀行本店営業部	運転資金として		13,961,924
南都銀行市役所出張所	南都銀行市役所出張所	運転資金として		47,357,842
三井住友銀行奈良支店	三井住友銀行奈良支店	運転資金として		5,993,367
南都銀行市役所出張所(総案)	南都銀行市役所出張所	運転資金として		17,933,404
南都銀行市役所出張所(近鉄)	南都銀行市役所出張所	運転資金として		8,694,386
南都銀行市役所出張所(センター)	南都銀行市役所出張所	運転資金として		2
南都銀行市役所出張所(会費)	南都銀行市役所出張所	口座引落による会費の受取口座として 会費等の受取口座として		1,308,893
郵便貯金				1,077,342
未収金				2,443,857
前払金				889,300
立替金				105,152
流動資産合計				100,347,013
(固定資産)				
基本財産				
土地	高円山大文字土地	公益目的保有財産である。		49,766
特定資産				
減価償却引当資産	南都銀行本店営業部	運用益を管理費の財源として使用している。		3,000,000
観光振興積立基金	南都銀行本店営業部	運用益を管理費の財源として使用している。		2,007,699
その他固定資産				
什器備品		公益目的保有財産である。		395,730
ソフトウェア		管理目的で保有する財産である。 (共用財産)		1,085,328
電話加入権		うち公益目的保有財産90% うち管理目的保有財産10%		145,600
保証金	旅行業営業保証供託金	管理目的で保有する財産である。		1,000,000
固定資産合計				7,684,123
資産合計				108,031,136
(流動負債)				
未払金				60,122,755
預り金		源泉所得税など		1,823,490
流动負債合計				61,946,245
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				61,946,245
正味財産				46,084,891

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有形固定資産の減価償却の方法
定率法である。
- (2) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地（高円山大文字土地）	49,766	0	0	49,766
小 計	49,766	0	0	49,766
特定資産				
観光振興積立基金	2,007,674	25	0	2,007,699
減価償却引当資産	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	5,007,674	0	0	5,007,674
合 計	5,057,440	25	0	5,057,465

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定 正味財産から の充当額)	(うち一般 正味財産から の充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土地（高円山大文字土地）	49,766	(49,766)	(0)	(0)
小 計	49,766	(49,766)	(0)	(0)
特定資産				
減価償却引当資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
観光振興積立基金	2,007,699	(2,007,699)	(0)	(0)
小 計	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
合 計	5,057,465	(2,057,465)	(3,000,000)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却 累計額	当期末残高
什器備品	2,777,914	2,382,184	395,730
ソフトウェア	1,823,040	737,712	1,085,328
電話加入権	145,600	0	145,600
合 計	4,746,554	3,119,896	1,626,658

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
奈良市補助金	奈良市	0	173,291,998	173,291,998	0	—
合 計		0	173,291,998	173,291,998	0	

—
附属明細書

1. 基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため、省略している。

監査報告書

令和元年度公益社団法人奈良市観光協会の事業報告書・計算書類、これらの附属明細書・公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿・会計書類・重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、隨時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告書及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

令和2年5月15日

監事 沢井啓祐



監事 伊藤隆司



公益社団法人奈良市観光協会

会長 乾昌弘様